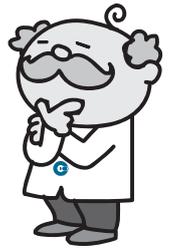


こんにちは!

村立東海病院であ



患者に寄り添う 医療ソーシャルワーカー

皆さんは、「医療ソーシャルワーカー」(通称:MSW (Medical Social Worker))という職業をご存じでしょうか。医療ソーシャルワーカーは、医療に関する情報提供や入退院時のさまざまな支援などを行い、患者さんやその家族が抱える経済的・社会的問題を解決に導くお手伝いをしています。最近では、社会福祉士や精神保健福祉士など、国家資格を取得する方も増え、より幅広い視点を持ち活躍しています。今回は支援の一例をもとに、医療ソーシャルワーカーについてご紹介します。



患者さんやそのご家族の問題解決への手助けを

現状

それは、誰にでも起こり得ること

今まで一人暮らしをしていた高齢者が入院——。退院後は今まで通り自宅に戻れるのか、リハビリ継続のため施設に入所した方がいいのか、ご本人はもちろんご家族も悩ましい壁にぶつかります。



▲地域医療連携室の皆さん

聞く

思いを聞く、思いに寄り添う

見通しが立たずに不安を抱えている中、まず患者さんやその家族の思いを聞くことから始めます。その後、医師や看護師、リハビリテーション担当者など、さまざまな職種で、どのような支援が必要かを検討していきます。

支援

具体的な支援の方法を考え、提案する

自宅に戻る場合は、どうしたら一人暮らしでも安心・安全に過ごせるのか、ケアマネージャーと介護サービスの調整を行います。必要に応じて、本人やご家族を交えて、病院の職員や地域の医師、訪問看護師、サービス事業者、行政の職員などが集まり、必要な情報交換を行い、どのような準備を行うか検討します。

施設に入所する場合は、本人やご家族の希望、体の状態を踏まえ、条件に合った施設を探します。施設の職員と院内の看護師やリハビリテーション担当者が情報交換できるよう連絡調整を行います。

大切に している こと

支援が必要な方と接するときに、社会資源(介護・障がいサービスなど)をただ単に紹介するだけでなく、相談援助の基本理念に沿ってその方自身を理解し、寄り添う姿勢を大切にしています。一人ひとりが持つ力や気持ちを尊重することも忘れません。医療ソーシャルワーカーの仕事は、病院と関係機関の橋渡しや解決に向けたお手伝いであり“解決するのはあくまで患者さんやご家族”であるという視点に立ち支援しています。



村

立東海病院には2人の医療ソーシャルワーカーが所属し、あらゆる相談に迅速に対応できるよう「患者サポート相談コーナー(患者相談窓口)」を設置しています。困ったことや不安に感じる事等があれば、外来・入院を問わず、医療ソーシャルワーカーへお気軽にご相談ください。

村立東海病院 地域医療連携室

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)